

## 組織透明化技術を用いた3次元病理診断に向けた基礎検討

### 1. 研究の対象

2010年4月から2025年3月に国立がん研究センター東病院で手術を行い、病理診断を受けられた18歳以上の方（未成年は除く）。

### 2. 研究目的・方法

研究目的：

組織透明化を行うことで3次元イメージングを構築し、病理学的診断へ応用することが目的です。

研究方法：

研究対象者の手術時の余剰検体、診療録および病理標本を後ろ向きに調査します。得られた情報をもとに全臓器を透明化して3次元イメージングの構築を目指します。

また構築した3次元イメージングを用いて、正常組織や腫瘍組織の組織学的特徴を解析し、さらに病理学的診断へ応用します。

研究実施期間：

研究許可日～2025年3月31日

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、画像所見、周術期治療内容、手術所見（術式等）、病理所見（組織型・病期、腫瘍、リンパ節転移の有無、節外浸潤の有無等）及び治療経過として予後、再発等。

試料：診療残余検体（手術で摘出した余剰検体）

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

(研究担当者)

国立がん研究センター 東病院 病理・臨床検査科

がん専門修練医 浦部 昭子

メールアドレス: aurabe●ncc.go.jp (●を@に置き換えてください)

〒 277-8577

住所 千葉県柏市柏の葉 6-5-1

電話番号 04-7133-1111

当センターの研究責任者：

国立がん研究センター 先端医療開発センター 臨床腫瘍病理分野

ユニット長 坂下 信悟

メールアドレス: ssakashi●east.ncc.go.jp (●を@に置き換えてください)